

歴史館探検シート 4

学校名 _____

学年・名前 _____

佐竹義宣 コース

旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 **室町時代** 江戸時代 明治・大正・昭和時代

南朝と北朝の天皇が手を結んで争いがおさまると、將軍のいる京都を中心に地方の武士もくらすようになりまし。中国との貿易も盛んになり、茶や水墨画など、日本的な文化が生まれました。地方では各地の武士が力を競い合い、やがて室町時代の終わり頃からしだいに戦いの世の中となりました。天下統一の足がためを行ったのは織田信長です。信長の後に天下を統一したのは豊臣秀吉です。秀吉は全国の土地を測量し、土地ごとに耕す農民とその土地の収穫量をきめました。また、さまざまはかりの大きさを統一し、全国どこでも同じはかりにしました。農民は、土地から離れられなくなり、刀もとりあげられてしまいました。ここでは、天下が統一されるようすを考えます。

問題1 室町時代は、各地の武士が勢力を競い合ったので、住居も鎌倉時代のような館ではなく、堀や土をいをそなえた城を築くようになりました。城には、平地につくられた（平城）や、山地につくられた（山城）があります。また、台地につくられた平山城もあります。

茨城県の城

武士の争いがふえると、各地に城が多くつくられるようになりました。城のほとんどは石垣がなく、大部分が台地を利用した平山（丘）城です。主なお城にはつぎのようなものがあります。

- 山城 → 笠間城
- 平山（丘）城 → 水戸城
- 平城 → 土浦城

その後、徳川家康は徳川幕府を開くと、国ごとに一つのお城だけにすることを命じました。この家康の命令により、各地のお城がこわされました。

お城の跡は学校になっていることが多いよ。みんなも近くで確かめてみよう。



問題2 室町時代には有名な僧があらわれました。写真の人物、名前、とくちょうを線で結びましょう



がっさん
月山



せつもん
雪村

・雪舟と並ぶ水墨画（すいぼくが）の画家

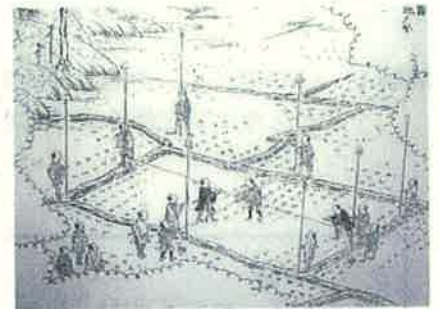
・茨城に禅宗を広めた僧

問題3 茨城県内にはどのような武士がいたのでしょうか。右の図をみて考えましょう
 常陸太田市→ (佐竹 氏) 鹿嶋市→ (鹿島 氏)
 水戸市→ (江戸 氏) 土浦市→ (菅谷 氏)
 結城市→ (結城 氏) 下妻市→ (多賀谷 氏)



問題4 戦国時代の常陸国を統一したのは写真左の人物です。この人物は本拠地である現在の常陸太田市から勢力をひろげ、水戸城をうばうと行方市や鹿嶋市、石岡市やつくば市の豪族をたおして常陸国を統一しました。
 この人物の名前を調べましょう。(佐竹義宣・さたけよしのぶ)

問題5 豊臣秀吉は天下を統一すると、全国の土地を測量しました。左の写真のように土地を測量することをなんというでしょう。
 (検地・けんち)



問題6 全国の土地の測量が終わると、面積ごとに収穫量をきめました。これを検見(けんみ)といい、収穫量の単位は石(こく)であらわされました。
 この結果、佐竹氏は常陸国54万石の大名となります。
 右の写真は、(豊臣秀吉・とよとみひでよし) が佐竹氏の支配することを認めた朱印状です。



問題7 関ヶ原の戦いで徳川家康に味方をしなかった佐竹氏は、家康に (秋田) へ国がえさせられました。家康は江戸に近い茨城県に佐竹氏のような大きな大名がいるのをおそれたのです。
 下の図を見ると、茨城県にはどのような種類の大名が多いでしょう。(譜代・ふだい)

